

カチオン性下地調整材 (0.5~2 mm)

**ポリマーセメントモルタル**

# **カチオンプラス#1**

**【施工要領書】**



**二瀬窯業株式会社**

**用 途**

適応仕上げ クロス、塗料、仕上塗材、Pタイル、タイルカーペット、塗床、防水材  
 適応下地 コンクリート、モルタル、ブロック、PC板、ALC板、既存タイル施工面等  
 塗厚0.5～2mmの下地調整材

**施工手順****1. 下地の確認（清掃・補修）**

- (1) 脆弱な旧仕上材、下地の脆弱層、レタンス、油脂、汚れ等はワイヤーブラシ、サンダー掛け等で除去し、水洗いまたは高圧洗浄を行って下さい。ウレタン防水等の下地の場合には、サンダー掛け等により施工面の目荒しを行ってください。

※浮き、剥落の原因となりますので下地の清掃は入念に行ってください。

**2. 吸水調整**

- (1) コンクリートやモルタルなど吸水のある下地の場合は、吸水調整材ユニレックス3を水道水で3倍に希釈したものを施工面に塗布して吸水調整を行ってください。

【希釈配合】

3倍希釈液…ユニレックス3 1L + 清水 2L

ユニレックス3 270m<sup>2</sup>/缶 (18L/缶)

- (2) ブロックやALC板等、吸水の激しい下地の場合は、ユニレックス3（原液）の5倍希釈液を塗布後、乾燥を待ってもう一度塗布して下さい（2回塗り）

【希釈配合】

5倍希釈液…ユニレックス3 1L + 清水 4L

ユニレックス3 600m<sup>2</sup>/缶 (18L/缶)

※ドライアウトの原因になりますので、下地への急激な吸水を調整する為に希釈倍率は厳守し、ムラ無く丁寧に塗布して下さい。

※ブロック等、下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要です。

**3. 材料の混練**

- (1) 下図の通りに調合し、モルタルミキサー等で練り残しの無い様によく混練して下さい。

こて仕様

調合…カチオンプラス#1 20kg + 清水 約5.4 L

カチオンプラス#1 約17m<sup>2</sup> (塗厚1mm)

ローラー・吹き付け仕様

調合…カチオンプラス#1 20kg + 清水 約8.0 L

カチオンプラス#1 約36m<sup>2</sup> (塗布厚0.5mm)

※強度低下の原因とので、粉体と水道水の調合割合は厳守して下さい。

※練置きは夏期40分、冬期60分以内とし、練足し、水を加えての練り戻しはしないで下さい。

#### **4. 塗り付け**

(1) コテ塗りの場合

コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるように塗り付けて下さい。仕上材の種類によって、金ゴテ押さえ等を行って下さい。

(2) ローラー塗りの場合

規定水量で練り上げたカチオンプラス#1をウールローラーの全体に付け、むらなく塗りつけて下さい。

(3) 吹き付けの場合

規定水量で練り上げたカチオンプラス#1をリシン・万能ガンに充填し、むらなく吹き付けて下さい。

※浮きや剥がれの原因になりますので所定厚以上の塗り付けはしないで下さい。

#### **5. 養生**

- (1) 通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生を行って下さい。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合もシート掛け等の養生を行って下さい。

※強度が出ないおそれがある為、通風や直射日光により塗り付け面の乾燥が激しい場合には、塗り付け翌日以降に散水養生を行って下さい。

※初期の雨掛かり等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生を行って下さい。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業を行って下さい。

※仕上材の浮きやはがれ、剥落の原因となりますので塗り付け後、仕上げまでの養生は夏期24時間以上、冬期72時間以上として下さい。

#### **注意事項**

1. 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないで下さい。
2. 施工後の道具は速やかに水洗いして下さい。
3. 直射日光・風雨時には、シート掛け等十分な養生をして下さい。
4. カチオンプラス#1の保管は、湿気を避ける場所にして下さい。
5. カチオンプラス#1には、当社が指定したもの以外のものを混入しないで下さい。
6. カチオンプラス#1硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意して下さい。